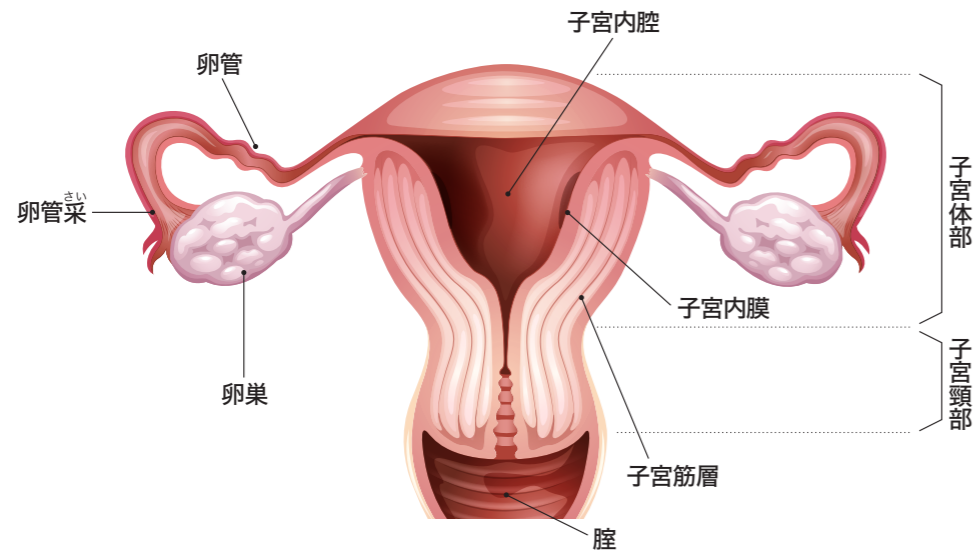


生殖医療の基本知識

生殖器の構造



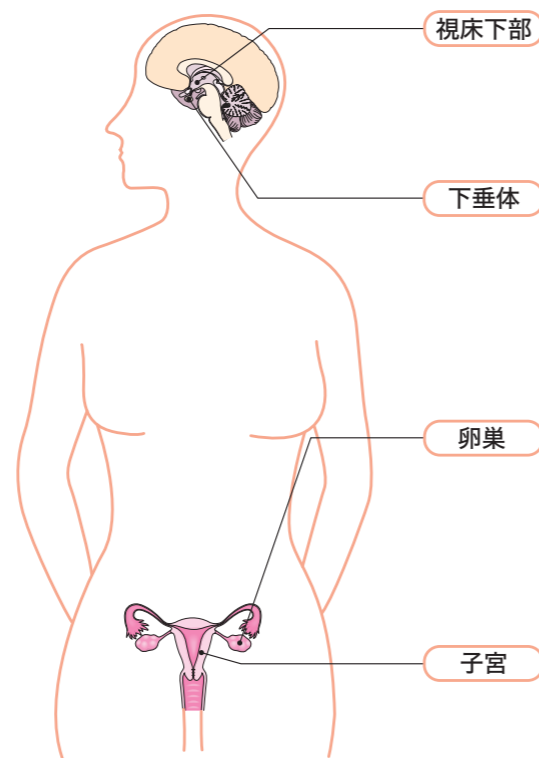
生殖に関わる臓器とホルモン

卵胞刺激ホルモン(FSH)

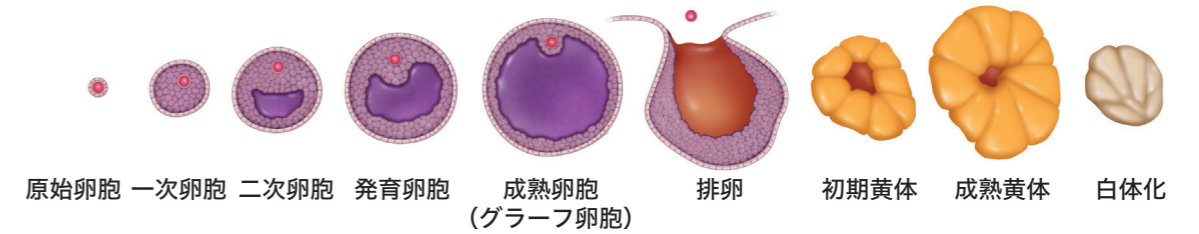
脳の下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンのひとつ。卵巣を刺激して、卵胞の発育を促す働きがある。

黄体化ホルモン(LH)

卵胞刺激ホルモン(FSH)と同じく、脳の下垂体から分泌される性腺刺激ホルモン。卵巣を刺激して、排卵を促す働きがある。



卵巣内における卵胞の変化



卵胞

卵巣にある、卵子を含んだおおよそ球状の細胞の集合で、排卵によって卵子が放出される。卵胞は、その発育過程に応じて「原始卵胞」、「胞状卵胞」、「成熟卵胞(グラーフ卵胞)」などと呼ばれる。

生殖医療の基本用語

一般不妊治療

体外受精・胚移植以外の不妊治療。自然もしくは排卵誘発剤による排卵のタイミングに合わせて性交渉を行うタイミング法や、射出した精子を体外で濃縮し、濃縮した懸濁液(けんたくえき)を細い管で子宮に注入する人工授精を指す。

生殖補助医療(ART: Assisted Reproductive Technology)

一般不妊治療に比べてより専門的な不妊治療。以下のものがある。

- 体外受精
経膣超音波下で卵巣から卵子を採取し、体外で精子と受精させて数日培養し、育った受精卵(胚)を子宮内に移植する治療方法。
- 胚移植
体外受精のあとに、妊娠を目的として受精卵(胚)を子宮に戻すこと。
- 顕微授精
体外受精において、受精を人工的に行う方法